令和6年度
弘前市優良建設工事表彰工事集

令和5年度に完成した請負金額500万円以上の工事177件から、「弘前市優良建設工事表彰基準」に基づき、5工事が選定されました。

受賞会社は6社、受賞技術者は当該工事を担当した6名が他の模範となるものとして、選定され表彰されたものです。

弘前市総務部契約課検査室

令和6年度 弘前市優良建設工事表彰受賞者一覧

ページ	工 事 名 称	受 注 者	主任（監理）技術者	工事種別
2	令和5年 三岳川雨水貯留池融雪施設整備工事	株式会社 佐藤惣建設 代表取締役 佐藤 隆	小野 勇	土木・舗装部門
4	令和4年度 林道沢田線災害復旧工事	丸勘建設 株式会社 代表取締役 一戸 利光	小竹 勝美	
6	令和5年度 平山橋橋梁補修工事	永澤・テック建設工事共同企業体 株式会社 永澤興業 代表取締役 永澤 学 株式会社 セーフティテック 代表取締役 奈良岡 誠	八木澤 晃 對馬 美佳	
8	令和4年度 宇田野橋橋梁補修工事	株式会社 永澤興業 代表取締役 永澤 学	後藤 朗	
10	令和5年度 千年小学校屋内運動場暖房機器更新工事	株式会社 共同設備 代表取締役 澁谷 久人	三國 大	設備機械部門
5工事		受賞業者 6社	6名	2部門

令和6年度 弘前市優良建設工事表彰式記念撮影



土　木　・　舗　装　部　門

工　事　名　称	令和５年度　三岳川雨水貯留池融雪施設整備工事
工　事　場　所	弘前市大字　北園一丁目外　地内
受　　注　　者	株式会社 佐藤惣建設
主 任 技 術 者	小野　勇

・工　事　期　間　　令和5年9月20日　～　令和6年3月25日
・請　負　金　額　　45,485,000 円
・工　事　内　容

近年の気候変動等に伴う局地的な大雨と、都市化の進展による雨水排水の増加によって、市内の各所において道路冠水や床下浸水等の被害が頻発しており、特に市街地を流れる普通河川三岳川の下流では溢水が常襲化していたことから、下流区域の南大町・取上地区における浸水被害の解消及び低減を図ることを目的として、三岳川上流の河川敷地を有効活用した雨水貯留池の整備を行ったものです。また、雪置き場（融雪施設）の機能を併せ持つ施設として一体的に整備することで、冬期間における除排雪作業の効率化と地域の除雪環境の向上を図っております。

平成29年度より工事着手し、本工事をもって完成したことから、令和6年度より三岳川雨水貯留施設として運用を開始しております。

・工　　種

施工延長 L=206.0m
コンクリートブロック積 L=64.7m　、コンクリートブロック張 L=7.9m
放流桝(幅3.0m×長さ4.0m×高さ3.0m) N=1箇所
放流管(ボックスカルバート 幅1.4m×高さ1.4m) L=7.8m
池底コンクリート舗装 A=710.3m2

位置図



着工前（下流から上流）



完　成（下流から上流）



着工前（上流から下流）



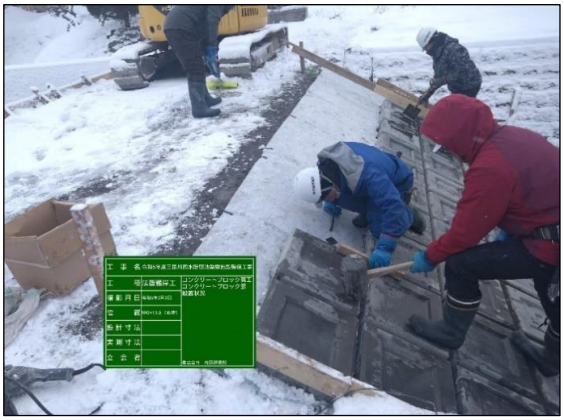
完　成（上流から下流）



コンクリートブロック積工　施工状況



コンクリートブロック張工　施工状況



放流桝工　施工状況



放流桝工　施工状況



放流管工　施工状況



池底コンクリート舗装工　施工状況



担当：土木課河川係
成田　央子（内線460）

土　木　・　舗　装　部　門

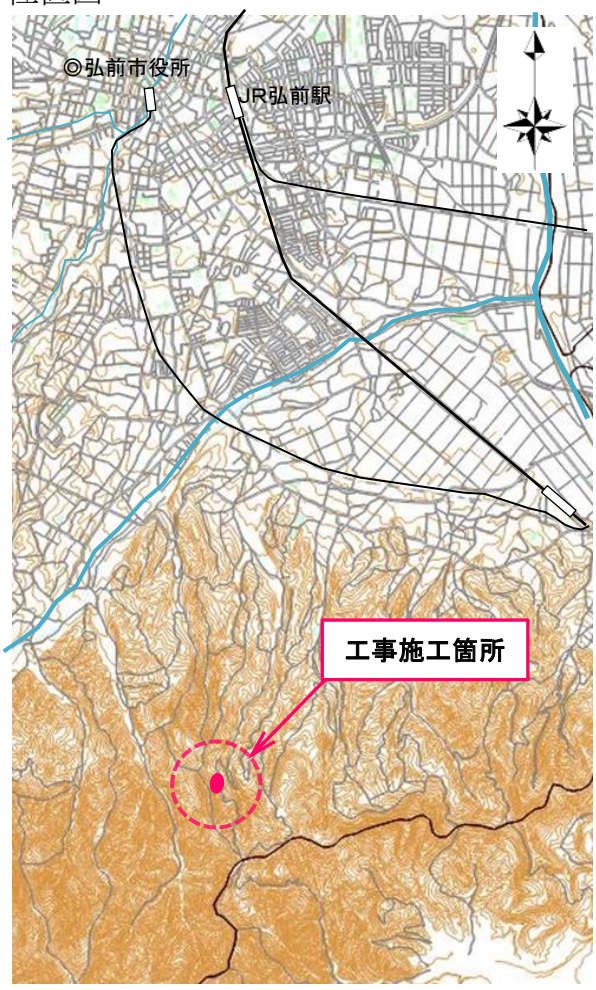
工　事　名　称	令和４年度 林道沢田線災害復旧工事
工　事　場　所	弘前市大字小栗山字鷲ノ巣地内
受　　注　　者	丸勘建設株式会社
主 任 技 術 者	小竹 勝美

・工　事　期　間　　令和5年3月25日　～　令和5年10月31日
・請　負　金　額　　5,805,800 円
・工　事　内　容　　擁壁工　A=57.5㎡

令和4年8月9日、弘前市の深山沢観測所において時間最大雨量62㎜（最大日雨量240㎜）を観測する激しい雨に見舞われ、観測所の近傍にある林道沢田線の一部が流出する災害が発生しました。これにより、車両の通行ができなくなったことから、弘前市では、令和5年3月より同年10月までの予定で、流出箇所の復旧工事に取り掛かりました。工事においては、早期開通を望む市民からの声を反映して、工期短縮に向けた取組を行い、予定よりも2ヶ月程早く完成することができました。また、工事状況などが書かれたパンフレットを作成し、誰でも閲覧したり持ち帰ることができるようにするなど、情報提供に努めました。

・工　　種
施工延長 L=22.1m　　擁壁工 A=57.5㎡
かご工 A=57.5㎡
L型側溝工 L=20m（再設置含む）
舗装工 A=34㎡（下層路盤工、上層路盤工、表層工）
防護柵工 L=21m（ガードレール）

位置図



着工前



完成



かご工（金網組立、栗石投入）





舗装工（各種路盤、表層）





防護柵工



工事周知（アピールパンフレット）



担当：農村整備課林務係
野呂 海幸（内線966）

土　木　・　舗　装　部　門

工　事　名　称	令和５年度　平山橋橋梁補修工事
工　事　場　所	弘前市大字　桜庭外　地内
受　　注　　者	永澤・テック建設工事共同企業体
監 理 技 術 者	八木澤　晃
主 任 技 術 者	對馬　美佳

・工　事　期　間　　令和5年8月8日　～　令和6年3月25日
・請　負　金　額　　94,780,966 円
・工　事　内　容

弘前市では、高度経済成長期以降に集中的に供用された橋が多いため、今後多額の更新費用が想定されています。そのため"弘前市橋梁長寿命化修繕計画"に基づき、本工事は、桜庭地区と平山地区を繋ぐ路線の平山橋について、橋の塗装塗替え等の補修工事により、橋梁の長寿命化を図ったものです。

・工　　種

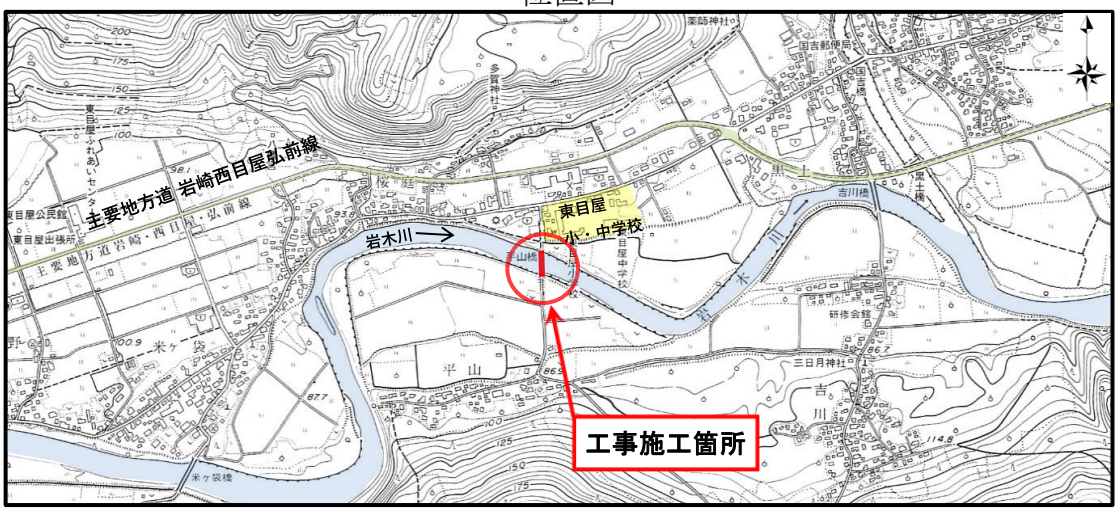
橋長 L=71.5m	幅員 W=6.20m
塗装塗替え	A=1,490.7m2
支承防錆工(※)	N=12基
排水管取替え	N=8箇所
伸縮装置取替え	N=3箇所
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装打替え	A=353.9m2

(※)湿潤環境で腐食しやすい支承を、ﾌﾞﾗｽﾄ後に亜鉛･ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金を溶射し、さらに塗装することで橋の長寿命化を図る工法。

施工前　　施工後



位置図



着工前　　完　成





橋梁足場工　吊足場設置状況



橋梁足場工　設置完了



橋梁塗装工　着工前



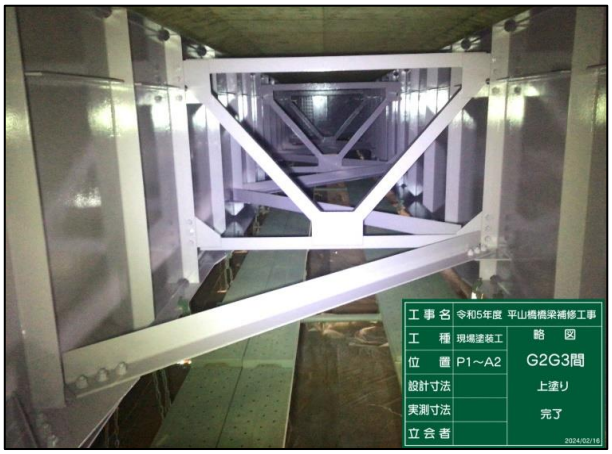
橋梁塗装工　ﾌﾞﾗｽﾄ状況



橋梁塗装工　ﾌﾞﾗｽﾄ分離回収ﾀﾝｸ



橋梁塗装工　完了



担当：土木課改良係
芦田　由一（内線425）

土　木　・　舗　装　部　門

工　事　名　称	令和４年度　宇田野橋橋梁補修工事
工　事　場　所	弘前市大字　小友　地内
受　　注　　者	株式会社永澤興業
主 任 技 術 者	後藤　朗

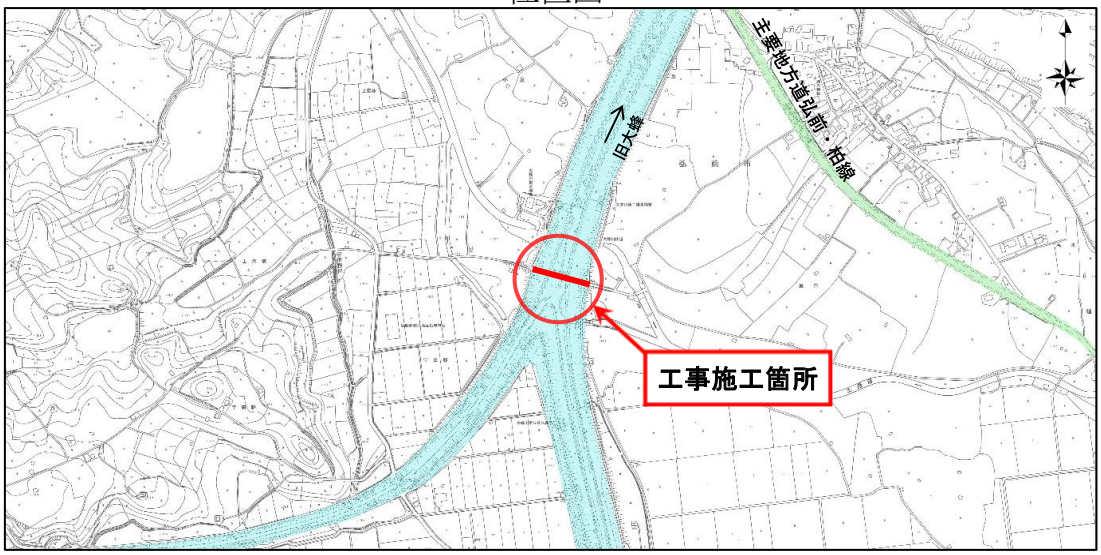
・工　　事　　期　　間　　令和5年10月28日　～　令和6年3月22日
・請　　負　　金　　額　　29,447,000円
・工　　事　　内　　容

弘前市では、高度経済成長期以降に集中的に供用された橋が多いため、今後多額の更新費用が想定されています。そのため"弘前市橋梁長寿命化修繕計画"に基づき、本工事は、小友地区と三和地区を繋ぐ路線の宇田野橋について、防護柵の塗装塗替え等の補修工事により、橋梁の長寿命化を図ったものです。

・工　　種

橋長　L= 90.6 m　幅員　W= 5.20 m	
防護柵塗装塗替え	A= 174.5 m2
支承防錆	N= 6 基
排水管取替え	N= 4 箇所

位置図



着工前



完　成



橋梁用防護柵工　着工前



橋梁用防護柵工　上塗り



橋梁用防護柵工　完了



支承補修工　着工前



支承補修工　金属溶射



支承補修工　完了



担当：土木課改良係
佐藤　宇泰（内線413）

設　備　（　機　械　）　部　門

工　事　名　称	令和５年度　千年小学校屋内運動場暖房機器更新工事
工　事　場　所	弘前市大字　小栗山字川合１１９番地７
受　　注　　者	株式会社共同設備
主 任 技 術 者	三國　大

・工　事　期　間　　令和５年１２月　７日　～　令和６年３月１５日
・請　負　金　額　　２４，４３６，５００円
・工　事　内　容

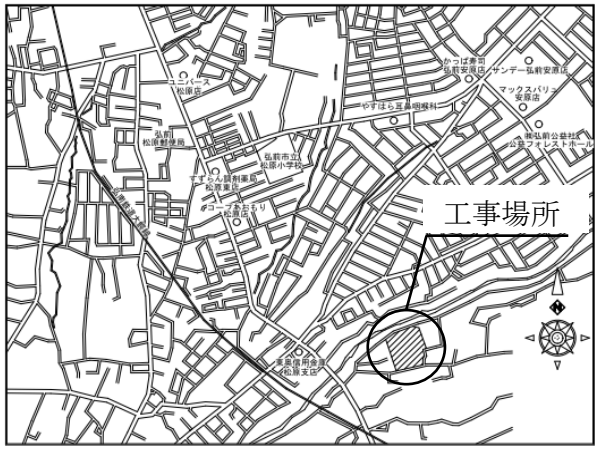
屋内運動場の既存温風暖房機が老朽化しており、機器を使用し続けることで、火災等の事故発生の危険性が高まることが懸念されるため、既存温風暖房機から遠赤外線放射暖房機へ更新し、安心、安全な教育環境を確保するものである。

また、既存温風暖房機よりも燃料消費率のよい暖房機器へ更新することで、維持管理コストの削減及び省エネルギーを図ることができる。

・工　　種

・既存温風ダクト撤去工
・新設遠赤外線放射暖房機設置工
・油送設備工
・電気設備工
・暖房機器取付架台工

位置図



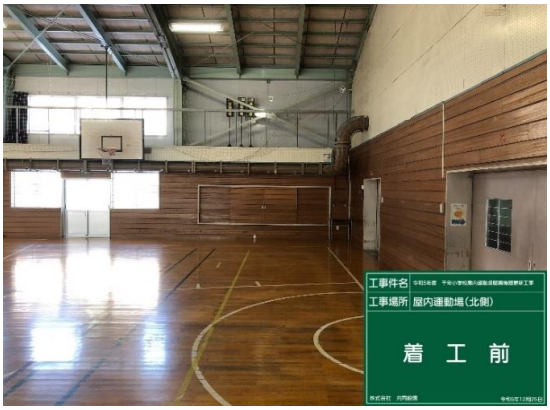
着工前



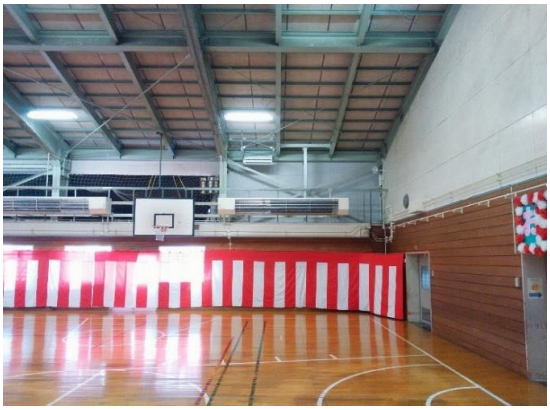
完　成



着工前



完　成



既存ダクト類　撤去状況



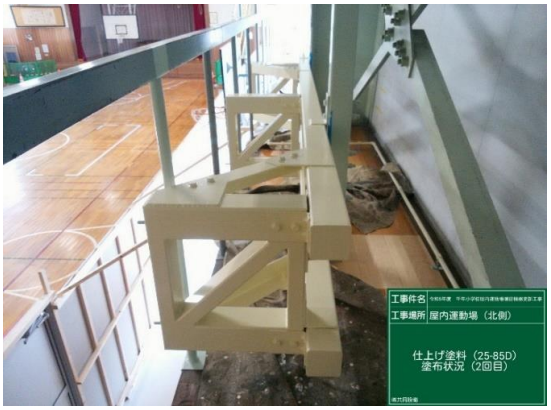
既存ダクト類　撤去完了



油送設備　設置完了



暖房機器取付架台設置及び仕上げ塗料塗布



分電盤及び暖房機器操作盤　設置完了



新設暖房機　設置完了



担当：建築住宅課　設備係
須藤　悠太（内線931）